

しろくま特典プレゼント:1人で勉強が進まないときの対策

■はじめに

お子さんが苦手な科目を1人で勉強していても、なかなか進まず手が止まってしまう...
そんな悩みを持つご家庭も多いのではないのでしょうか。

「解説を読んでもわからない」「1人だと集中できない」「どう取り組みればいいかわからない」——
このようなとき、親が少し関わることで、お子さんのやる気や学びの進み方が大きく変わります。

この特典では、1人で勉強が進まないときに親ができるサポートや、声かけの工夫をまとめました。

ぜひ、明日からの家庭学習に取り入れてみてください😊

1. どこでつまづいているか整理する

ポイント:

「わからない」を「どこがわからないのか」に言語化する力を育てる

具体例:

「問題の意味がわからないのか、式の立て方がわからないのか、一緒に見てみようか？」

理想の状態:

質問が上手になり、自分でつまづきポイントを見つけられるようになる

2. 問題を分解して一歩ずつ進める

ポイント:

全体を見て難しそうでも、1ステップずつに分ける

具体例:

「まず何を求めている問題かな？次に、どんな式を立てれば良いと思う？」

理想の状態:

難しそうな問題にも向き合えるようになり、自信がつく

3. 自分の言葉で説明させる

ポイント:

理解度を深めるにはアウトプットがカギ

具体例:

「さっきの問題、ママに教えてくれる？どう考えたの？」

理想の状態:

自分で説明できることで、理解が深まり記憶に残る

4. 15分×数セットで集中力をキープ

ポイント:

長時間より短時間集中の方が効果的

具体例:

「この問題、15分だけ集中してやってみよう。終わったら5分休憩しようね」

理想の状態:

「少しだけやってみよう」という気持ちで取り組めるようになる

5. 環境を変えて気分転換

ポイント:

学習場所や方法を変えることで集中力アップ

具体例:

「今日はリビングで一緒にやってみようか」「週末は図書館で勉強してみよう」

理想の状態:

「やってみようかな」と気持ちを切り替えやすくなる

6. 一緒に考える時間をとる

ポイント:

「1人じゃない」と感じさせることが安心につながる

具体例:

「この問題、一緒に考えてみようか」「ママも分かるかな？」

理想の状態：

親子で学びの時間を共有でき、学習習慣が育つ

7. 「できた！」を積み重ねる

ポイント：

小さな成功体験を意識的に作る

具体例：

「この問題、スラスラできたね！すごい！」「昨日より早くできたね」

理想の状態：

成功体験が積み重なり、苦手意識が少しずつ薄れる

8. 勉強の前に「今日の目標」を決める

ポイント：

やることが明確だと迷わず取り組める

具体例：

「今日はこの3問をやってみよう」「計算問題だけにしようか」

理想の状態：

「これならできそう」と見通しをもって取り組めるようになる

9. 得意な問題から始める

ポイント：

「やればできる」という気持ちを最初に作る

具体例：

「まずは簡単な計算からやってみよう！その後に文章題ね」

理想の状態：

スムーズに学習に入れるようになり、苦手問題にも取り組みやすくなる

10. スモールゴールで達成感を可視化

ポイント:

小さなゴールを達成するたびに「できた！」を実感させる

具体例:

「このページが終わったらチェックマークつけよう」「できたらシールを貼ろう！」

理想の状態:

やる気が持続し、継続的な学習につながる

まとめ

「うちの子、1人じゃ進まない…」と悩むのは、あなただけではありません😊

少しの工夫と声かけで、お子さんの勉強はグンと進みやすくなります。

「一緒に成長していこう」という気持ちで、焦らずゆっくり取り組んでいきましょうね🐻